

放置竹林の整備活動（長岡京市）

<活動団体名> 長岡京市 竹林友の会

<特徴>

全国でも有名なタケノコを産出する西山で、放置された竹林を整備し、水資源の涵養をはかり、併せて、伝統的なタケノコ生産技術を保存・継承します。また竹文化の振興を図りながら環境問題にも取り組む市民のボランティア・グループです。

<活動内容>

乙訓地方はかつてタケノコの名産地であり、かつ名水の里でした。しかし今は両方とも危ない状態です。タケノコ(竹林)も木材(森林)も国際市場の影響で売れなくなり、労働力も高齢化が進み、その結果竹林も森林も手入れがされず放置されてきました。

竹林の場合は竹が密生し、枯れ竹が倒れて藪になるところが増えています。こうなると雨が降っても流れ去ってしまい、地下水ができません。また地表が暗くなりタケノコもできません。

私たちは、この荒廃した竹林の整備にとりかかりました。密生する竹を間伐するのはきつい労働ですが、水資源づくりになります。その先、一層の労力とカネがかかりますが、乙訓のタケノコづくり独



特の施肥、ワラ敷き、土入れなどをすると元のタケノコ畑に戻ります。こうして伝統的な栽培技術を習得します。

その一方で、誰でも竹林に入れるよう遊歩道をつくりました。(一般の竹林には入林できません)今後、環境学習ができるようにします。そして今年、平成19年秋にはその一部でコンサートを開きました。

こうして5年が過ぎようとしています。今後は春にはグリーンツーリズムとしてタケノコ掘りに歓声をあげてもらい、秋にはコンサートで日本の伝統的な音楽を楽しんでもらえると思います。竹林の爽やかな空気のもとで環境の大切さを実感してください。

<活動のPR>

現在友の会会員25名。基本的な活動としては、毎週土曜日の午前中に放置竹林の整備をしています。参加者を求めています。

<連絡先>

長岡京市 竹林友の会 電話 075-955-6300 (杉谷)

ホームページ http://www.geocities.jp/nkyo_chikutomo/

